2 ベストプラクティス事業

	事業名称	社会教育機会の充実 (「Kids City!天王寺」の取組)		
(1)目標達成状況・取組実績				
	業績目標(チャレンジ目標)	社会教育プログラムに参加する学生数 30名	達成 状況	取組実績のとおり
			評価 結果 (<u>※</u> 1)	① i
	取組実績	社会教育プログラム参加者 304名		
	創意工夫	こどもたちが仮想の「まち」の住民となり、自分の好きな仕事をしてお金を稼ぎ、遊び感覚で政治・行政・経済といった社会のしくみや仕事について楽しみながら体験し、自ら学ぶ機会を提供するという「Kids City!天王寺」の取組を実施した。 実施にあたっては、 ・大人が準備したプログラムを体験するのではなく、子どもたち自身が考え、協議し、自分の意見がまちづくりに反映される過程を経験できるよう、「こども会議」という事前プログラムを開催 ・当日のイベントのみに参加した子どもたちについても、問題への対応能力や他者と協力して一つの物事をやり遂げる社会性を身につけることができるよう、大人の関与は最小限にし、子どもたち自身で運営といった点を工夫した。		
(2) 戦略に対する有効性(アウトカムの実現への貢献度)				
	アウトカム	社会教育プログラム利用者の満足度 70% (90%)	達成 状況	99%
			評価 結果 (※2)	А
	戦略	企業・NPOと連携した教育プログラムの実践など学校外教育機会の提供		
	貢献内容	「まち」を運営していく上で発生するさまざまな課題について、子どもたち自身が状況に合わせて解決策を考え、実行するなど、大人の関与をできるだけ少なくして子ども中心の運営にしたことが参加者の高い満足度を得ることに大きく寄与したと考えられ、チャレンジ目標を達成できたと認識している。		

(3) 汎用性

子どもたちの二一ズに適合した企画をつくりあげていく上で、単に意見だけを聞くのではなく、課題解決の プロセスも含めた子どもたちの自由な発想を取り入れていくことは、他事業でも応用できると考えられる。

※1) 具体的取組の業績目標の達成状況
①:目標達成
(i) 取組は予定どおり実施
(ii) 取組を予定どおり実施しなかった
②:目標未達成
(i) 取組は予定どおり実施
(ii) 取組を予定どおり実施
(ii) 取組を予定とおり実施
3: 撤退基準未達成

(※2)アウトカムの達成状況

A: 順調 B: 順調でない